

製品名: MAP1LC3A マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82299**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | ELISA,FC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG2a |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|-------------------------------------|
| 希釈倍率 | ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 14.3kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | MAP1LC3A |
| 別名 | LC3; LC3A; ATG8E; MAP1ALC3; MAP1BLC3 |
| 遺伝子 ID | 84557.0 |
| SwissProt ID | Q9H492 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト MAP1LC3A (AA: 1-121) の精製された組み換え断片。 |

背景

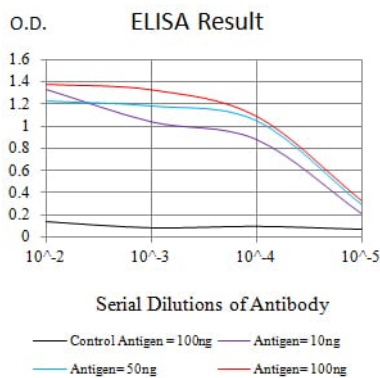
MAP1A と MAP1B は微小管関連タンパク質であり、微小管と細胞骨格構成成分との物理的相互作用を媒介します。MAP1A と MAP1B はそれぞれ、重鎖サブユニットと複数の軽鎖サブユニットで構成されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質

は軽鎖サブユニットの1つであり、MAP1AまたはMAP1Bのいずれかと会合することができます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つっています。バリエーション1の発現は多くの腫瘍細胞株で抑制されており、発癌に関与している可能性が示唆されています。[RefSeq 提供、2012年2月]

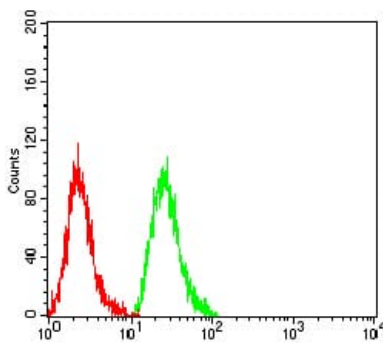
研究分野

オートファジー

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



MAP1LC3A マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。